

調査結果の概要

【調査の概要】

1 調査対象	(1)事業所調査	都内の常用雇用者数 30 人以上の 3,000 事業所
	(2)従業員調査	調査対象事業所に勤務するパートタイマー1,928 人

※ 「パートタイマー」の定義：一般には、正社員より 1 日の所定労働時間が短いか 1 週の所定労働日数が少ない者をいうが、本調査では、当該事業所で「パートタイマー」として処遇されている者（いわゆるフルタイムパート等）を含む（短時間正社員を含まない。）。

2 調査時点・方法	(1)事業所調査	令和 3 年 10 月 1 日時点 郵送配布、郵送回収
	(2)従業員調査	令和 3 年 10 月 1 日時点 事業所を通じて配布、事業所を通さずに郵送回収

3 回収状況	(1)事業所調査	有効回収数 859	有効回収率 28.6%
	(2)従業員調査	有効回収数 558	有効回収率 28.9%

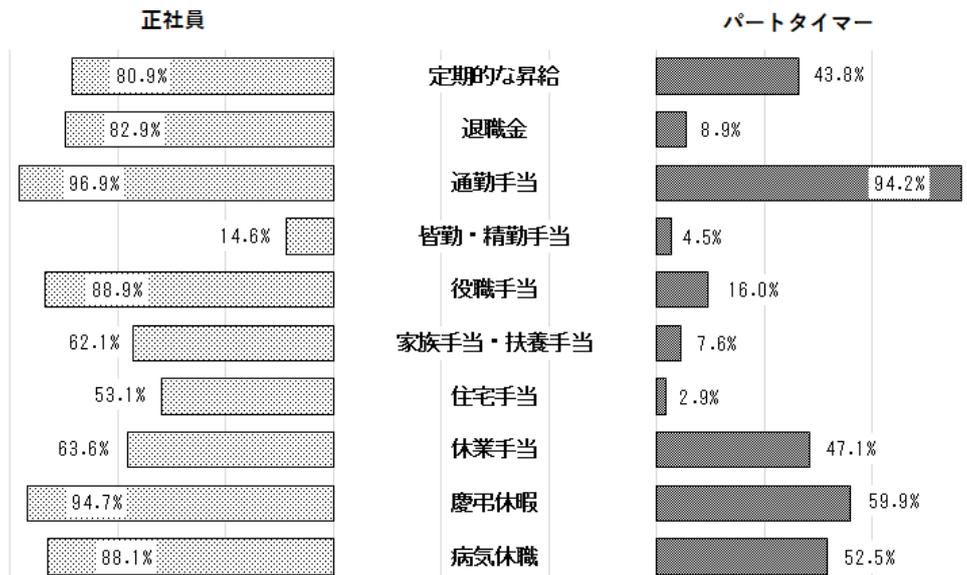
<注意> 統計表の集計について、小数第 2 位を四捨五入しているため、割合の合計が 100%とならない場合がある。また、複数回答を可とした設問では、選択肢ごとに回答者数に対する割合を算出しているため、割合の合計が 100%を超える場合がある。

1 待遇格差の実態

(1) 正社員とパートタイマーの処遇の違い〔事業所調査〕

○「退職金」、「役職手当」、「家族手当・扶養手当」及び「住宅手当」について、正社員に支給している事業所が 5 割を超えた一方で、パートタイマーに支給している事業所は 2 割未満であった。【報告書 24 頁】

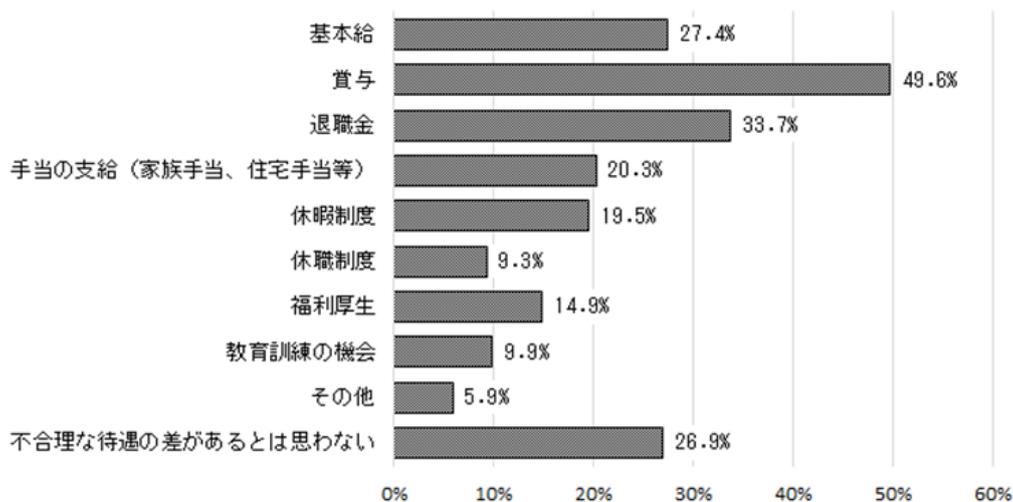
制度又は支給の「ある」事業所の割合 (n=514)



(2) 不合理な待遇の差があると感じる点〔従業員調査〕

- 正社員との間に何らかの不合理な待遇差があると回答したパートタイマーが 69.2%であった。「不合理な待遇の差があるとは思わない」は 26.9%であった。【報告書 48 頁】
- 不合理な待遇差があると感じる点（複数回答）については、回答割合が多い順に、「賞与」（49.6%）、「退職金」（33.7%）、「基本給」（27.4%）、「手当の支給（家族手当、住宅手当等）」（20.3%）であった。【報告書 48 頁】

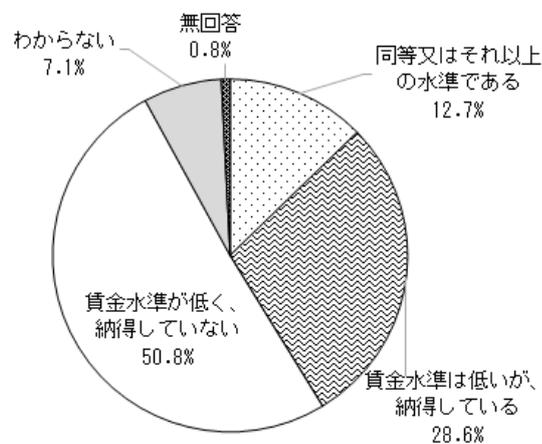
不合理な待遇の差があると感じる点【複数回答】(n=558)



(3) 賃金水準に対する感じ方（業務の内容及び責任の程度が同じ正社員との比較）〔従業員調査〕

- 職場に「業務の内容及び責任の程度が同じ正社員がいる」と回答したパートタイマーは 22.6%であった。【報告書 49 頁】
- 職場に「業務の内容及び責任の程度が同じ正社員がいる」と回答したパートタイマーの 50.8%が「賃金水準が低く、納得していない」と回答した。【報告書 49 頁】

賃金水準に対する感じ方(n=126)

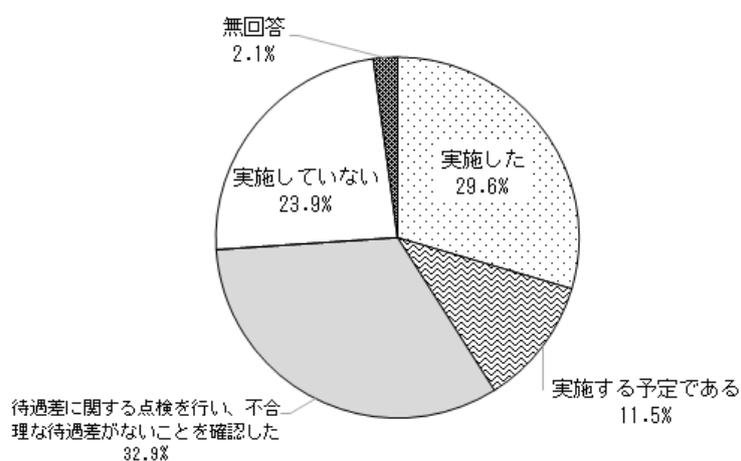


2 処遇改善に向けた動き

(1) 不合理な待遇差をなくすための取組の実施状況〔事業所調査〕

- パートタイマーを雇用している事業所のうち、直近5年間に正社員とパートタイマーとの間の不合理な待遇差をなくすための取組を「実施した」のは29.6%であり、「実施する予定である」(11.5%)と合わせると4割程度であった。「実施していない」は23.9%であった。【報告書25頁】
- 「待遇差に関する点検を行い、不合理な待遇差がないことを確認した」が32.9%と最も多かった。【報告書25頁】

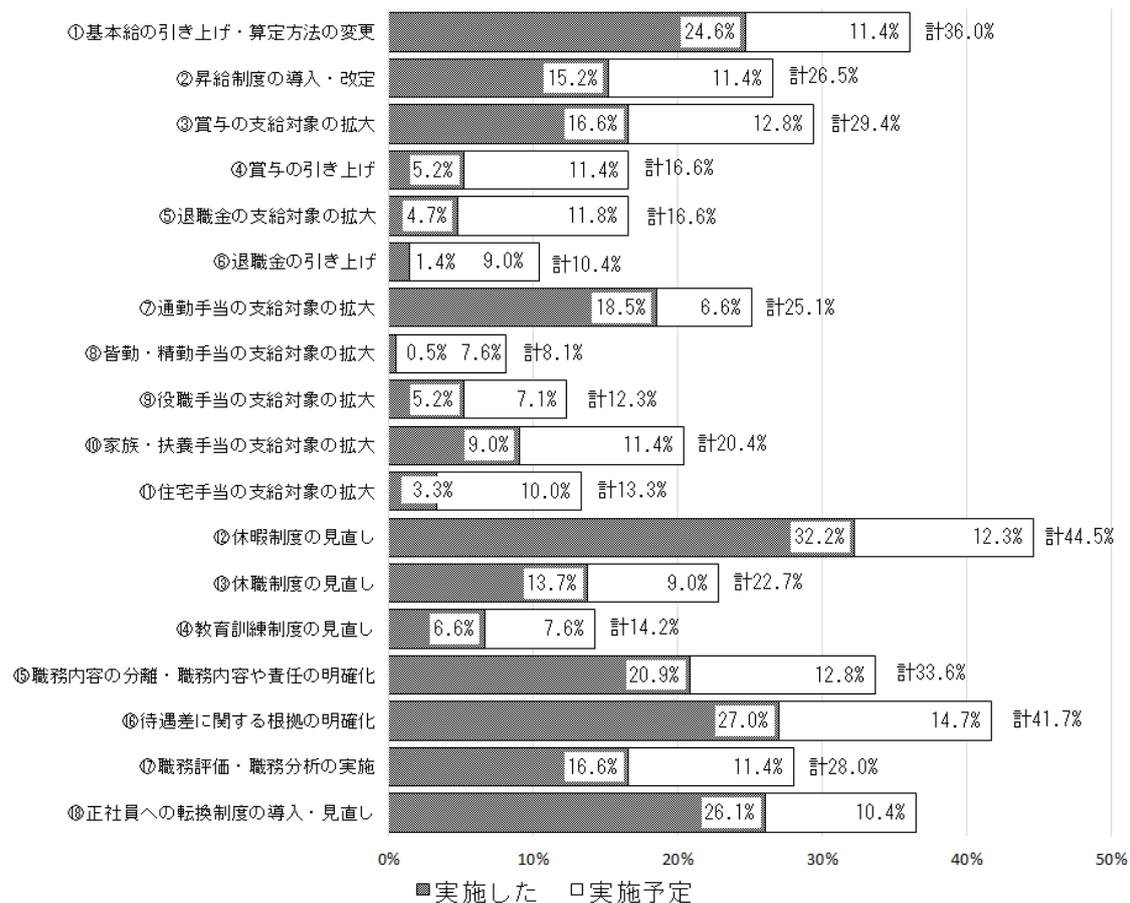
不合理な待遇差をなくすための取組の実施状況(n=514)



(2) 不合理な待遇差をなくすための具体的な取組〔事業所調査〕

○正社員とパートタイマーとの間の不合理な待遇差をなくすための取組を「実施した」又は「実施する予定である」事業所が実施済み又は実施予定の具体的な取組については、回答割合が多い順に、「休暇制度の見直し」(44.5%)、「待遇差に関する根拠の明確化」(41.7%)、「正社員への転換制度の導入・見直し」(36.5%)、「基本給の引き上げ・算定方法の変更」(36.0%)となった。【報告書 26 頁】

不合理な待遇差をなくすための具体的な取組 (n=211)

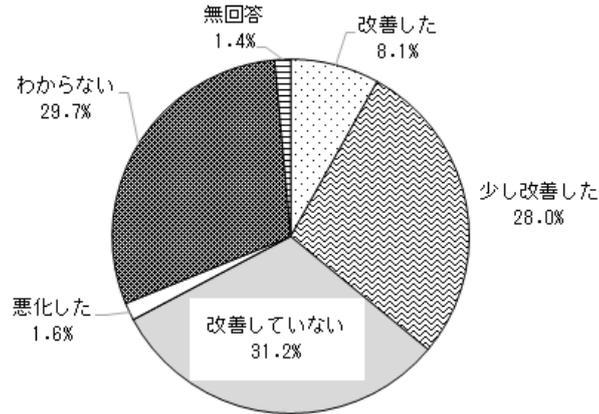


(3) パートタイマーの処遇改善に関する実感〔従業員調査〕

○この5年の間にパートタイマーの処遇が改善したと実感しているパートタイマーは36.0%であった（「改善した」8.1%、「少し改善した」28.0%）。【報告書 46 頁】

○この5年の間にパートタイマーの処遇が「改善していない」と回答したパートタイマーは31.2%であった。【報告書 46 頁】

パートタイマーの処遇改善に関する実感(n=558)

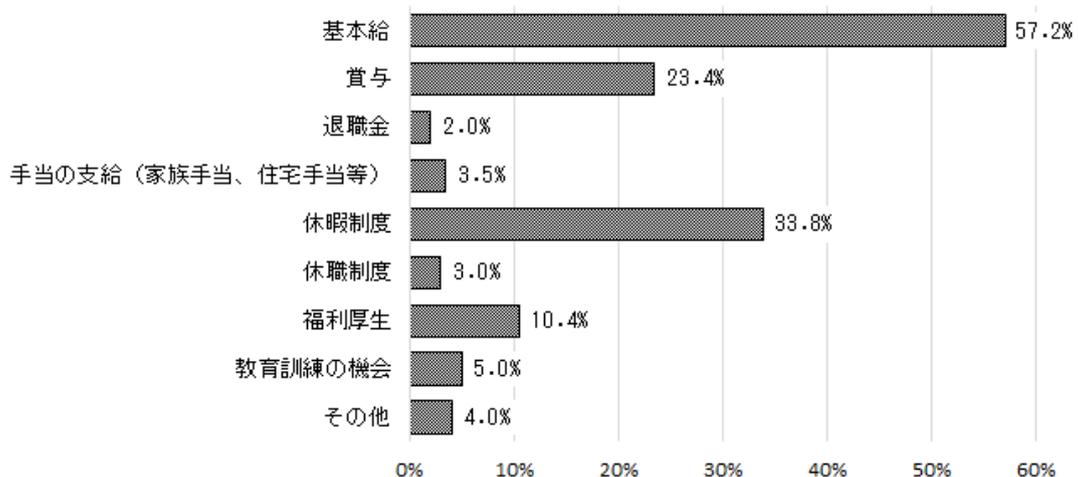


(4) 改善したと感じている点〔従業員調査〕

○この5年の間にパートタイマーの処遇が「改善した」又は「少し改善した」と回答したパートタイマーがどのような点で処遇が改善されたと感じているか（複数回答）については、回答割合が多い順に、「基本給」（57.2%）、「休暇制度」（33.8%）、「賞与」（23.4%）、「福利厚生」（10.4%）となった。【報告書 47 頁】

○「退職金」や「手当の支給（家族手当、住宅手当等）」が改善されたと回答したパートタイマーはごく一部にとどまった。【報告書 47 頁】

改善したと感じている点【複数回答】(n=201)

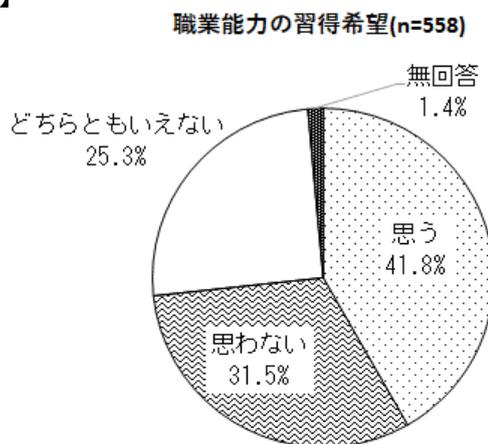


3 職業能力の習得

(1) 職業能力の習得希望〔従業員調査〕

○現在従事している職務に限らず、新たに将来に向けて仕事に関する資格を取得したり、技能やスキルを習得したいと「思う」と回答したパートタイマーは41.8%であった。

【報告書 63 頁】



(2) 習得を希望する職業能力〔従業員調査〕

○現在従事している職務に限らず、新たに将来に向けて仕事に関する資格を取得したり、技能やスキルを習得したいと「思う」と回答したパートタイマーが、どのような資格を取得したり、技能やスキルを習得したいか（複数回答）については、「オフィス系情報処理（MOS等）関係」が23.2%と最も多く、次いで、「デジタル（Webデザイン・プログラミング等）関係」、「介護関係」、「経理事務関係」がいずれも21.0%となった。

【報告書 64 頁】

